「建築系工事チェックリスト」

工事名 _____ 工事 _____

工期 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

請負者名 _____

課名 _____

専任監督員名 _____

「施工プロセスチェック」は、工事標準仕様書、契約約款等に基づき、施工に必要なプロセスが適切に施工されているかを監督員等が確認する。
 チェック欄では、書類もしくは現場等で確認した月日、及びその内容がOKであれば、「し」マークを記入し、OKでなければ、備考欄に指示事項や正状況等を記録する。（確認項目が当該工事の対象とならない場合、斜線で項目を取り消してください。）
 用語の定義について 契約後：当初契約後、変更後：工期内に行う契約変更後とする。

審査項目	細別	確認項目	番号	チェックリスト一覧表	チェックの目安	チェック時期			指摘あり	指摘なし	備考（指示事項及び是正事項）	
						／	□	□				
1	施	工程表	1	・契約締結後5日以内に提出された。	当初、契約後	／	□	□	□	□		
			2	・事前に監督員の確認を受け、契約締結後等10日以内に登録された。	契約後、変更後、完成前	／	□	□	□	□	□	
			3	・品質証明に関する資料を書面で提出した。	契約後、変更後	／	□	□	□	□	□	
	施	品質証明	4	・工事途中及び検査時の事前に品質確認を行い、その結果を所定の様式により提出した。	検査前等	／	□	□	□	□	□	
			5	・品質証明は、出来形、品質及び写真管理等、工事全般にわたり適切（数量も含む）に実施した。	品質証明実施時	／	□	□	□	□	□	
			6	・掛金収納書の写しを契約締結後1ヶ月以内に提出した。	契約後	／	□	□	□	□	□	
	工	建設業退職金共済制度等	7	・「建設業退職金共済制度適用事業主現場」の標識が現場に掲示されている。	施工時1回程度	／	□	□	□	□	□	
			8	・労災保険関係の項目が現場の見易い場所に掲示されている。	施工時1回程度	／	□	□	□	□	□	
			9	・建設業退職金共済証紙の配布を受払簿等により適切に管理している。	施工時適宜	／	□	□	□	□	□	
	体	施工体系図	10	・施工体系図を現場の工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲げている。	施工時の当初、変更時	／	□	□	□	□	□	
			11	・施工体系図に記載のない業者が作業していない。	施工時1回/2～3月程度	／	□	□	□	□	□	
			12	・施工体系図に記載されている主任技術者及び施工計画書に記載されている技術者が本人である。	施工時、変更時	／	□	□	□	□	□	
	制	一括下請けの禁止	13	・元請人がその下請工事の施工に実質的に関与している。	施工時、変更時	／	□	□	□	□	□	
			14	・建設業許可を受けたことを示す標識を公衆の見易い場所に設置し、監理技術者を正しく記載している。	施工時1回程度	／	□	□	□	□	□	

審査項目	細別	確認項目	番号	チェックリスト一覧表	チェックの目安	チェック時期			指摘あり	指摘なし	備考(指示事項及び是正事項)
1	施工体制	配置技術者/現場代理人	15	・現場代理人は現場に常駐している。	施工時1回/2~3月程度	/	/	/	☐	☐	
			16	・現場代理人は、監督員との連絡調整及び対応を書面で行っている。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐	
		17	・専門技術者を専任し、配置している。	施工計画時、施工時適宜	/	/	/	☐	☐		
		18	・作業主任者を選任している。	施工計画時、施工時適宜	/	/	/	☐	☐		
		主任技術者の専任制	19	・資格証の内容を確認した。	着手前、変更後	/	/	/	☐	☐	
			20	・現場に常駐していた。	施工時1回/2~3月程度	/	/	/	☐	☐	
			21	・施工計画や工事に係る工程、技術的事項を把握し、主体的に依っていた。	施工時、打合せ時	/	/	/	☐	☐	
			22	・施工に先立ち、創意工夫又は提案をもって工事を進めている。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐	
		23	下請業者が蒲郡市の工事指名競争参加資格者である場合には、指名停止期間中でない。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐		
		2	施工管理状況	設計図書 の照査等	24	・設計図書の照査を行っている。	着手前、施工時適宜	/	/	/	☐
25	・現場と相違事実がある場合、その事実が確認できる資料を書面により提出して確認を受けた。				着手前、施工時適宜	/	/	/	☐	☐	
施工計画書	26			・施工(変更を含む)に先立ち、提出した。	着手前、変更時	/	/	/	☐	☐	
	27			・記載内容と現場施工方法が一致している。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐	
	28			・記載内容(作業手順書等)と現場施工体制が一致している。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐	
	29			・記載内容が設計図書・現場条件等を反映している。	着手前、変更時	/	/	/	☐	☐	
施工管理 ・工事材料 管理 ・出来形、 品質管理 ・イメージ アップ	30			・工事材料の資料の整理及び確認がされ、管理している。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐	
	31			・品質管理確保のための対策等施工に関する工夫を書面で確認できる。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐	
	32			・日常の出来形、品質管理が書面にて確認できる。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐	
	33			・特記仕様書等に定められた事項や独自の取組み又、地域等により評価されるものがある。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐	

調査項目	細別	確認項目	番号	チェックリスト一覧表	チェックの目安	チェック時期			指摘あり	指摘なし	備考(指示事項及び是正事項)	
2	施工管理	検査(確認を含む)及び立会い等の調整	34	・監督員の立会いにあたっては、あらかじめ立会願を提出している。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐		
			35	・段階確認の立会時期が、適切である。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐		
		建設副産物及び建設廃棄物	36	・請負者は産業廃棄物管理票(マニフェスト)により適正に処理されていることを確認し、監督員に提示した。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐		
			37	・再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を所定様式に基づき作成し、施工計画書に含め提出した。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐		
		指定建設機械類の確認	38	・指定建設機械(排出ガス対策型・低騒音型・低振動型建設機械)を使用している。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐		
	施工状況	工程管理	39	・フォローアップ等を実施し、工程の管理を行っている。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐		
			40	・現場条件変更への対応、地元調整を積極的に行い、その結果を書類で提出した。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐		
			41	・作業員の休日の確保を行った記録が整理されている。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐		
		安全対策	安全活動	42	・災害防止協議会等を設置し、活動記録がある。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐	
				43	・自社パトロールを実施し、記録がある。	施工時1回/2~3月程度	/	/	/	☐	☐	
				44	・安全訓練を実施し、記録がある。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐	
45				・安全巡視、TBM, KY等を実施し記録がある。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐		
46				・新規入場者教育を実施し記録がある。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐		
47				・過積載防止に取り組んでいる記録がある。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐		
48				・使用機械、車輛等の点検整備等が管理され、記録がある。	施工時1回/2~3月程度	/	/	/	☐	☐		
49	・重機操作で、誘導員配置や重機と人との行動範囲の分離措置がなされた点検記録等がある。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐					
50	・山留め、仮締切等の設置後の点検及び管理の記録がある。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐					
51	・足場や支保工の組立完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等により実施され、記録がある。	施工時適宜	/	/	/	☐	☐					

調査項目	細別	確認項目	番号	チェックリスト一覧表	チェックの目安	チェック時期			指摘あり	指摘なし	備考(指示事項及び是正事項)
2 施	安全対策	安全活動	52	・保安設備等の整理・設置・管理が的確であり、記録がある。	施工時適宜	/ □	/ □	/ □	□	□	
		安全パトロールの指摘事項の処理	53	・各種安全パトロールでの指摘事項や是正事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正報告した記録がある。	施工時適宜	/ □	/ □	/ □	□	□	
工 状 況	対外関係	関係機関等	54	・関係官公庁等の関係機関との折衝及び調整をした記録がある。	施工時適宜	/ □	/ □	/ □	□	□	
			55	・地元住民等との施工上必要な交渉、工事の施工に関する苦情対応を適正に行い、記録がある。	施工時適宜	/ □	/ □	/ □	□	□	
			56	・隣接工事又は施工上密接に関連する工事の請負業者と相互に協力を行っている記録がある。	施工時適宜	/ □	/ □	/ □	□	□	

建築系工事成績採点表

工事番号

成績採点表

印刷

課名

施工体制・状況

印刷

工事名

出来形・品質

印刷

工事場所

蒲郡市

出来ばえ

印刷

請負者名

高度技術・創意工夫等

印刷

専任監督員名

消しゴム

主任監督員名

総括監督員名

検査員名

検査年月日

平成 年 月 日

請負金額

金 円

工事データのクリア

決 裁	課長	課長補佐	係長	主査	係

工事番号 _____

工事名 _____

工事場所 蒲郡市 _____

請負者 _____

請負金額 金 _____ 円 _____

課 名 _____

専任監督員 _____

主任監督員 _____

総括監督員 _____

検査員 _____

検査年月日 平成 年 月 日 _____

工 事 成 績 採 点 表

評 価 項 目	細 別	専任監督員		主任監督員		総括監督員		検 査 員	
		基準点	評定点	基準点	評定点	基準点	評定点	基準点	評定点
1.施工体制	施工体制一般	1.6		1.6					
	配置技術者	1.9		1.9					
2.施工状況	施工管理	3.2						8.5	
	工程管理	3.0				6.3			
	安全対策	3.4				7.3			
	対外関係	1.7		1.7					
3.出来形及び出来ばえ	出来形	1.5		4.2				10.5	
	品質	1.5		4.2				12.5	
	出来ばえ							8.5	
4.高度技術				6.0					
5.創意工夫				4.0					
6.社会性等						5.0			
7.法令遵守等									
小 計		17.8		23.6		18.6		40.0	
計									
評 定 点 合 計									
所 見	監督員								
	検査員								

所見は必ず記入のこと。

1 施 工 体 制

評価項目	細別	専任監督員		主任監督員		評価項目					
		該当	評価	該当	評価						
1 施 工 体 制	施工体制一般	評価項目	☐	☐	☐	☐	<p>施工体制台帳で下請負(建設工事 合計3,000万円以上、建築一式工事 合計4,500万以上)施工体系が確認できる。</p> <p>工事カルテの登録(契約後10日以内で、契約金額500万円以上)が監督員の確認を受けた上で行われている。</p> <p>建設業退職金共済制度の主旨を作業員等に説明するとともに証紙の購入または、自社退職金制度を適用している。</p> <p>品質証明では、品質証明の時期、確認項目が工事全般にわたり、よく把握されている。</p> <p>施工体制台帳、施工体系図が整備され、施工体系図も現場に掲げられ、現場と一致している。</p> <p>工事規模に応じた人員、機械配置の施工となっている。</p> <p>「施工プロセス」チェックで、指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに実施された。</p> <p>当初契約金額が500万円以上で下請があり、施工体系図が現場に掲げられている。</p> <p>その他:</p>				
			評価結果	☐	☐	☐		☐			
			専任監督員	指摘事項	☐	☐		☐	☐		
			主任監督員	指摘事項	☐	☐		☐	☐		
			配置技術者(現場代理人等)	評価項目	☐	☐		☐	☐	<p>現場代理人として、工事全体の把握ができています。</p> <p>現場代理人として、監督職員との連絡調整を書面で行っている。</p> <p>書類整理、資料整理が適切に処理されている。</p> <p>施工に先立ち、創意工夫または提案を持って工事を進めている。</p> <p>契約書、設計図書、指針等を良く理解し、現場に反映して工事を行っている。</p> <p>設計図書の照査が十分で現場との相違があった場合は適切に対応している。</p> <p>作業環境、気象、地質条件等の困難克服に努めている。</p> <p>下請の施工体制、施工状況を把握し、部下等共によく指導している。</p> <p>主任技術者又は、監理技術者として技術的判断に優れ良好な施工に努めた。</p> <p>作業主任者を専任し配置している。</p> <p>専門技術者を専任し、配置している。</p> <p>「施工プロセス」チェックで、指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに実施された。</p> <p>その他</p>	
			評価結果		☐	☐		☐	☐		
			専任監督員		指摘事項	☐		☐	☐		☐
			主任監督員		指摘事項	☐		☐	☐		☐

2 施 工 状 況

評価項目	細別	専任監督員		検査員		評価項目			
		該当	評価	該当	評価				
2 施 工 状 況	施工管理	評価項目	☐	☐	☐	☐	<p>設計図書の照査を行い、監督職員の確認を受けて施工を行っている。</p> <p>施工計画書と現場施工方法が一致している。</p> <p>施工計画書と現場の施工体制等が一致している。</p> <p>施工計画書の内容が設計図書の内容及び現場条件を反映したものとなっている。</p> <p>工事材料の使用及び調達計画が十分なされ管理されている。</p> <p>品質確保のための対策がみられる。</p> <p>日常の出来形管理が適時、的確に行われている。</p> <p>日常の品質管理が適時、的確に行われている。</p> <p>現場内での整理整頓が日常的になされている。</p> <p>使用材料等の品質保証書等または工事記録、写真等が適切に整理されている。</p> <p>現場でのイメージアップに積極的に取り組んでいる。</p> <p>立会確認の手続きが事前になされている。</p> <p>機器・材料承諾書の提出等の申請が適切な時期になされている。</p> <p>工事記録の整備が適時、的確になされている。</p> <p>建設廃棄物及びリサイクルへの取り組みが適切になされている。</p> <p>工事全体で使用機械、車両等で低騒音、低振動、排出ガス対策機械を使用している。</p> <p>他工事と調整した適切な試運転計画が立案、提出され、計画を反映した試運転、報告がなされている。</p> <p>段階確認、立会いが適切に行われている。</p> <p>「施工プロセス」チェックで、指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに実施された。</p> <p>その他</p>		
			評価結果	☐	☐	☐		☐	
			専任監督員	指摘事項	☐	☐		☐	☐
			検査員	指摘事項	☐	☐		☐	☐

	檢 查 員	項	□	□	
			□	□	

評価項目	細別	専任監督員		総括(主任)監督員		評価項目
		該当	評定	該当	評定	
2 施工状況	工程管理	☐	☐	☐	☐	フォローアップ等を実施し、工程の管理を行っている。
		☐	☐	☐	☐	時間制限、片側交互通行等の各種制約があるにもかかわらず工程の短縮を行った。
		☐	☐	☐	☐	現場条件の変更への対応が積極的で処理が早く、また地元調整を積極的に行い円滑な工事進捗を行った。
		☐	☐	☐	☐	休日の確保を行っている。
		☐	☐	☐	☐	工程表の内容が検討され、関連工事との調整もよく充実している。
		☐	☐	☐	☐	夜間や休日の作業が少なく、余裕をもって工期前に完成した。
	評価結果	☐	☐	☐	☐	機器製作の前に機器承諾図及び工場検査申請書を適切な時期に提出した。
	専任監督員	☐	☐	☐	☐	工程管理を工程表やパソコンを用いて、日常的に把握している。
	総括(主任)監督員	☐	☐	☐	☐	「施工プロセス」チェックで、指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに実施された。
	指摘事項	☐	☐	☐	☐	その他
2 施工状況	安全対策	☐	☐	☐	☐	災害防止(工事安全)協議会等を設置し、1回/月以上活動し記録が整備されている。
		☐	☐	☐	☐	自社パトロールを1回/月以上実施し記録が整備されている。
		☐	☐	☐	☐	各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正報告している。
		☐	☐	☐	☐	安全教育、訓練等を月当たり1回程度、半日以上の実時間を実施し記録が整備され、かつ創意工夫をしている。
		☐	☐	☐	☐	安全巡視、ツールボックスミーティング(TBM)、危険予知訓練(KY)等を実施し記録を整備している。
		☐	☐	☐	☐	新規入場者教育を実施し、実施内容に現場の特性が十分反映され、記録が整備されている。
	評価結果	☐	☐	☐	☐	安全管理の臨機の措置を行った。
	専任監督員	☐	☐	☐	☐	過積載防止に積極的に取り組んでいる。
	総括(主任)監督員	☐	☐	☐	☐	使用機械、車両等の点検整備がなされ管理されている。
	指摘事項	☐	☐	☐	☐	重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。
2 施工状況	対外関係	☐	☐	☐	☐	工事施工にあたり各関係機関との折衝及び調整をし、トラブルの発生がない。
		☐	☐	☐	☐	工事施工にあたり地元との適切な調整を行った。
		☐	☐	☐	☐	苦情に対する的確に対応し、良好な解決に役立った。
		☐	☐	☐	☐	積極的な地元対策を実施し、第三者からの苦情がなかった。または苦情によるトラブルが少なかった。
		☐	☐	☐	☐	関連工事との調整を行い、関連工事を含む工事全体の円滑な進捗に寄与している。
		☐	☐	☐	☐	「施工プロセス」チェックで、指摘事項が無かった。または指摘事項に対する改善が速やかに実施された。
	評価結果	☐	☐	☐	☐	その他
	専任監督員	☐	☐	☐	☐	
	主任監督員	☐	☐	☐	☐	
	指摘事項	☐	☐	☐	☐	

出来形

3 出来形及び出来ばえ

細別	工種	検査員		主任監督員		専任監督員		評価項目	
		該当	評定	該当	評定	該当	評定		
出来形	建築一般	評価項目	☐	☐	出来形管理図または出来形管理表が適切にまとめられており、確認できる。				
			☐	☐	出来形において、不可視部分の出来形が写真で的確に判断できる。				
			☐	☐	自社の管理基準を設定し、適切に管理している。				
☐	☐		☐	☐	☐	☐	出来形の形状、寸法が設計値（設計図書）を満足し、バラツキが少ない。		
☐	☐		☐	☐	☐	☐	製品の形状、寸法の設計値に対する実測値が許容範囲内であり、満足している。		
☐	☐		☐	☐	☐	☐	製品の性能、機能が設計値（設計図書）を満足し、バラツキが少ない。		
☐	☐		☐	☐	☐	☐	写真管理がなされ適切に写真撮影されている。		
☐	☐		☐	☐	☐	☐	その他		
修正指示事項	☐		☐	内容：					
	☐		☐	内容：					
	☐	内容：							
	☐	内容：							
	☐	内容：							
記録欄	監督員								
	検査員								

品質

細別	工種	検査員		主任監督員		専任監督員		評価項目						
		該当	評定	該当	評定	該当	評定							
品質	建築工事 (建具工事・取壊し工事・外構工事)							(躯体工事)						
								☐	品質管理が明確で品質確保に創意工夫がある。					
								☐	施工計画書に定められた品質計画により管理されている。					
								☐	材料の品質証明が適切である。					
								☐	請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。					
								☐	施工の品質・形状が適切で良好な施工である。					
								☐	不可視部分の写真記録等が適切である。					
								☐	(仕上工事)					
								☐	品質管理が明確で品質確保に創意工夫がある。					
								☐	施工計画書に定められた品質計画により管理されている。					
								☐	材料の品質証明が適切である。					
								☐	請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。					
								☐	施工の品質・形状が適切で良好な施工である。					

細別	工種	検査員		主 任 監 督 員		専 任 監 督 員		評 価 項 目	
		該当	評定	該当	評定	該当	評定		
品	建築工事（改修）	☐	<p>品質管理が明確である。</p> <p>施工計画書に定められた品質計画により管理されている。</p> <p>材料の品質証明が適切である。</p> <p>請負者の品質計画による品質管理記録が整備されている。</p> <p>不可視部分の写真記録等が適切である。</p> <p>品質・形状が適切で良好な施工である。</p>						
	機械・電気設備工事（エレベーター工事・照明設備工事・ポンプ設備工事・管工事・ガス工事・下水道工事・消防施設工事・冷暖房設備工事・その他類似工事）	☐	☐	品質や性能確保のための製作着手前の技術検討が十分実施され、内容が確認できる。					
		☐	☐	材料の品質照合がミルシート等（現物照合を含む）で確認でき、満足している。					
		☐	☐	部品の品質、性能が証明書等で確認でき、満足している。					
		☐	☐	機器の品質、機能、性能が成績書等で確認でき満足している。					
		☐	☐	溶接管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。					
		☐	☐	塗装管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。					
		☐	☐	製品の機能、性能管理が設計書のとおり実施され、内容が確認でき、欠陥がなく満足している。					
		☐	☐	操作制御関係が所定の機能を有しているとともに、必要な安全装置、保護装置の機能が確認でき満足している。					
		☐	☐	設備の総合試験が設計書のとおり確保され、内容が確認でき、満足している。					
		☐	☐	使用材料や構造物に損傷がない。					
	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	不可視部分の写真記録等が適切である。	
	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	完成図書において、設備の機能（性能）が容易に判別できる資料が整備されている。	
	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	完成図書において、機器の製造年月日及び製造者が判別できる資料が整備されている。	
	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	仕様書で定められている品質管理基準項目を満足している。	
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	設置にあたり、現地調査がなされ適切に施工されている。		
質	電気通信工事（受変電設備工事・その他類似工事）	☐	<p>単体品（材料・部品組立後）の品質及び形状が均一で、設計図書等との適正が確認でき、証明書等が整備されている。ただし、JIS及び電気用品取締法施行令によるものは、単体品に証明書を省略できるものとする。</p> <p>設備の機能が設計図書等との適正が確認でき、その機能の証明書が整備されている。</p> <p>設備全体としての運転性能（工場及び現地試験結果）がよく、所定の能力を満足している。</p> <p>完成図書において、設備の機能（性能）が容易に判別できる資料が整備されている。</p> <p>完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料が整備されている。</p> <p>不可視部分の写真記録等が適切である。</p>						
	コンクリート構造物工事	☐	☐	コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。					
		☐	☐	コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。					
		☐	☐	施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレーターの機種、養生方法等、適切に行っている。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）					
		☐	☐	型枠、支保工の取外し時のコンクリート強度が適正に管理されている。					
☐		☐	鉄筋の規格がミルシートで確認できる。						
☐		☐	鉄筋の引張り強度・曲げ強度が試験値で確認できる。						
☐		☐	コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。						
☐		☐	鉄筋の組立て・加工が適正であることが確認できる。						
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	圧接作業に当たり、作業員の技量確認を行っている。		
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	スペーサーの材質が適正で、品質が確認できる。		
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保している。		
☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	モッコン跡から漏水がない。		

細別	工種	検査員		主 任 監 督 員		専 任 監 督 員		評 価 項 目
		該当	評定	該当	評定	該当	評定	
コンクリート二次製品を主とした工事		□	□	□	□	□	□	(共通)
								仕様書に定められている品質管理が実施され、規格値を満足している。
								構造物周辺の埋戻、締め固め等の処理を適切に行っている。
								コンクリート二次製品の強度や品質が確認できる資料等が整理されている。(JIS規格外品も含む)
								コンクリート二次製品に欠けやひび割れ及び色むら等がなく、製品の見栄えが良い。
								基礎コンクリート、間詰めコンクリート等の養生が適切であり、クラックがない。
								コンクリート構造物(二次製品も含む)の、端部処理が適切である。
								目地が適切(間隔・モルタル充填等)に、施工されている。
								目地材(エラス等)の間隔が適切に施工され、クラックがない。
								ブロック割付図(ボックスカルバート・L型擁壁等)を作成し、役物が適切に使用されている。
								基礎地盤の整形、清掃、湧水処理等が適切に実施されていることが確認できる。
								二次製品の保管、吊り込み、据付等に十分注意を払っていることが確認できる。
								土留め、ウエルポイント等の仮設が設計図書に基づき適切に施工・管理されていることが確認できる。
								(擁壁類)
								胴込めコンクリート、裏込材の充填が十分で空隙が生じていない。
								基礎コンクリート及び天端等の調整コンクリートにクラック等の欠陥がない。
								材料の連結または、かみ合わせが適切である。
								端部における地山とのすりつけが適切である。
								丁張りを2重、3重に設けるなど、法勾配、裏込め材の厚さの確保のため細心の注意を払っている。
								コンクリート版擁壁工の施工にあたり、ソイルコンクリートの配合、練混ぜ、打込み、締固め及び養生が適切に行われている。
								(排水施設)
								位置、方向、高さ、勾配等について前後の施設又は地形になじみよく施工されている。
								不等沈下防止に配慮して、基礎地盤の締固めが特に入念に行われている。
								呑口、吐口、集水桝等の取付けコンクリートにクラック等の欠陥がない。
								施設の流末は、浸食、滞留等が生じないよう処理されている。
								不等沈下の発生がなく、基礎コンクリートの亀裂や継目部からの漏水も見られない。
								継目部の目地モルタルが適切に施工されている。
								製品周辺の盛土、埋戻土の施工にあたり、撒き出し、転圧が適切に施工されている。
製品の継目部には隙間、ズレがなく、適切に施工されている。								
防護柵(網)・標識・区画線等設置工事		□	□	□	□	□	□	防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定に従い適切に施工し、規格値を満足している。
								使用材料の品質及び形状が設計図書等との適切性が確認でき証明書が整備されている。
								設置にあたり、現地調査がなされ適切な位置に施工されている。
								区画線の施工にあたり、路面清掃等を実施し密着性のよい施工がされている。
								ペイント式(常温式)区画線に使用するシンナーの使用量が10%程度以下である。
暗渠工事		□	□	□	□	□	□	マンホール用品の規格・品質がミルシートで確認できる。
								管渠の規格・品質がミルシートで確認できる。
								設計図書に基づくコンクリート配合試験及び試験練が行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。
								コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。
								コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
								施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレーターの機種、養生方法等、適切に行っている(寒中及び暑中コンクリート等を含む)
								管の通りがよい
								管の両端が均等に埋戻されていることが確認できる。
								管の吊り込み、据付の際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。

細別	工種	検査員		主監督員		専監督員		評価項目	
		該当	評価	該当	評価	該当	評価		
品	暗渠工事	☐	<p>管渠の接合状況が良好であることが確認できる。</p> <p>管からの漏水がない。</p> <p>管路の形状及び外観を目視及び打音により的確に実施されていることが資料により確認できる。</p> <p>管路の導通試験を実施していることが確認できる。</p>						
	土留め工事	☐	<p>土留め矢板、腹起こし、切り張り材の品質が確認できる。</p> <p>仮設材にそり、ゆがみ、傷がない。</p> <p>仮設材の組立・設置が確実になされ、かつ点検も行われている。</p> <p>周辺環境（騒音・振動・地盤変動等）に配慮した施工方法で実施している。</p> <p>施工記録等により設計条件に適合した根入れ長で施工されていることが確認できる。</p> <p>締固めを適切な条件で施工しており、管の周辺に空隙が生じていない</p> <p>掘削面以下を乱していないことを確認できる。（排水を考慮し、良好な床付け面を確保している。）</p>						
	水道工事	☐	<p>管工事標準仕様書等で定められている品質管理が実施されている。</p> <p>材料の品質規程証明書が整備されている。</p> <p>ダクタイル鋳鉄管(耐震)等の接合管理で全口数について継手チェックシートに記録し写真等で確認できる。</p> <p>管の吊り込み、据付けの際に常に十分な注意を払っていることが確認できる。</p> <p>仕切弁、消火栓構造物に損傷及び補修痕がない。</p> <p>埋戻しは、土砂中にある塵芥等を取除き、厚さ20cm以内ごとにタンバ等で入念に締固めが実施されている。</p> <p>埋戻しに際し、管上10cmまでは人力で突き棒などで締固めが実施されている。</p> <p>管の両端が均等に埋め戻されていることが確認できる。</p> <p>地盤面、基礎面に不陸が生じていないことが確認できる。</p> <p>使用材料の納入時、検収や保管等の管理が適切であり、写真等で明確に確認できる。</p> <p>塩化ビニール管T S接合に先立ち管体に挿入寸法の標線を入れ写真等で確認できる。</p> <p>新旧連絡工のタイプ別管理が実施され、洗管作業が写真等で確認できる。</p>						
	(切土、盛土、築堤等工事)	☐	<p>雨水による崩壊が起こらないように排水対策を実施している。</p> <p>段切り等が施工前に適切に行われている。</p> <p>置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工している。</p> <p>筋芝または種子吹付等を適切に行っている。</p> <p>構造物周辺の締め固め等の処理を適正に行っている。</p> <p>土羽土の土質が適正である。</p> <p>CBR試験等を行っている。</p> <p>法面に有害なクラックや損傷部がない。</p>						
	質	法面工事	☐	<p>【共通】</p> <p>施工基面が平滑に仕上がっている。</p> <p>【種子吹付け工、客土吹付け工、厚層基材吹付け工関係】</p> <p>土壌硬度試験及び土壌試験（PH）を実施し施工に反映している。</p> <p>ネット等の重ね幅が10cm以上確保されている。</p> <p>ネット等の設置にあたり、法面への固定方法が適切である。</p> <p>吹付け厚さが均等である。</p> <p>吹付け厚さによって、必要な場合2層以上に分けて行っているのが確認できる。</p> <p>【コンクリート又はモルタル吹付け工関係】</p> <p>金網等の重ね幅が10cm以上確保されている。</p> <p>吹付け厚さが均等である。</p> <p>金網等の設置にあたり、法面への固定方法が適切である。</p>					

細別	工種	検査員		主 任 監 督 員		専 任 監 督 員		評 価 項 目
		該当	評定	該当	評定	該当	評定	
品	法 面 工 事	☐	<p>供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>跳ね返り材料が適切に処理されている。</p> <p>水抜きパイプが適切に配置されている。</p> <p>【現場打ち法枠工関係】</p> <p>アンカーの施工長さが確認できる。</p> <p>アンカーが確実に固定されている。</p> <p>現場養生が適切に行われている。</p> <p>供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p>枠内に空隙がないことが確認できる。</p> <p>層間にはく離がないことが確認できる。</p> <p>跳ね返り材料が適切に処理されている。</p>					
	舗 装 工 事	☐	<p>【路床・路盤工関係】</p> <p>施工に伴い、CBR試験平板載荷試験及び安定処理の配合試験等を実施し、適切な舗装設計の基礎資料収集を行っている。</p> <p>路床、路盤工のブルーフローリング、現場密度試験等の管理を行い品質の確認ができる。</p> <p>路床、路盤工の仕上げ面が均一でローラマークがない。</p> <p>【アスファルト舗装工関係】</p> <p>混合物の温度管理が、プラント出荷時・舗設時等で整理・記録されている。</p> <p>舗装の各層の継ぎ目が標準仕様書に定められた数値以上ずらしている。</p> <p>目地の処理が標準仕様書に定められた通りであることが確認できる。</p> <p>気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業（締め固め等）の配慮が行われている。</p> <p>プライムコート、タックコートが均一に施工され散布量が確認できる写真記録等が適切である。</p> <p>基準密度等の管理がされており品質の確認ができる。</p>					
	基 礎 工 事 (地盤改良等含む)	☐	<p>杭に損傷及び補修跡がない。</p> <p>杭の打ち止め管理方法又は場所打ち杭の施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。</p> <p>水平度、安全度、鉛直度が確認できる。</p> <p>溶接の品質管理に関して仕様書に定められた事項が確認できる。</p> <p>場所打杭についてトレミー管のコンクリート内に2m以上入れて施工していることが確認できる。</p> <p>掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度、比重等が適切に管理されている。</p> <p>ライナープレートの組立にあたって、偏心と歪みが少なくなるように配慮されている。</p> <p>裏込材注入の圧力等が施工記録により確認できる。</p>					
	塗 装 工 事	☐	<p>塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合も含む)</p> <p>ケレンが入念に実施されていることが確認できる。</p> <p>施工時の天候、気温及び湿度等の条件が整理、記録されている。</p> <p>塗り残し、気泡、むら、たれ、はけ目等の欠陥がない。</p> <p>塗膜に有害な付着物がない。</p> <p>塗料の空缶管理が、写真等で確実に確認できる。</p>					
	植 栽 工 事	☐	<p>土壌硬度試験及び土壌試験 (PH)を実施し施工に反映している。</p> <p>活着管理が適切に行われている。</p> <p>樹木等に損傷、はちくずれ等がなく保護養生が適切に行われている。</p> <p>樹木等の生育に害のあるものは除去されている。</p> <p>余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われている。</p> <p>肥料が直接樹木の根にふれないよう均一に施肥されている。</p>					

出来ばえ

細別	工種	検査員		評価	項目	評価	項目
		該当	評定				
出 来 ば え (建 築)	建築工事 (新築・増築・改築・改修)	☐	☐	1. 建築物の通り、形状が良い。	☐	☐	5. 建具の取り付け、作動が良い。
		☐	☐	2. 仕上げの均一性、平坦性が良い。	☐	☐	6. 既存部分や関連工事との調整がなされ、全体に調和がよい仕上げである。
		☐	☐	3. 機能面での配慮が適切である。	☐	☐	7. 関連工事との取り合いが良い。
		☐	☐	4. 防水の収まりが良好である。	☐	☐	8. 全体的な美観が良い。
	エレベーター工事	☐	☐	1. 構造物等に、きめ細やかな施工がなされている。	☐	☐	4. 建築機械設備として高い品質・性能が確保されている。
		☐	☐	2. 関連工事との調整がなされ全体に調和が良くとれた仕上がりである。	☐	☐	5. 運転及び保守点検に対する配慮が適切である。
		☐	☐	3. 機能面や安全に対する配慮が適切である。			
	電気設備工事 照明設備工事 その他類似工事 (改修工事含む。)	☐	☐	1. 仕上り状態が良く、細やかな施工がなされている。	☐	☐	4. 製作上の補修痕跡がなく、電気設備として高い品質・性能が確保されている。
		☐	☐	2. 構造物とのすりつけが良い。	☐	☐	5. 既存部分や関連設備との調整がなされ、全体に調和がよい仕上げである。(改修工事)
		☐	☐	3. 機能面や安全に対する配慮が適切である。	☐	☐	6. 運転及び保守点検に対する配慮が適切である。
機 械 設 備 工 事	機械設備工事 ポンプ設備工事 その他類似工事 (改修工事含む)	☐	☐	1. 仕上り状態が良く、きめ細やかな施工がなされている。	☐	☐	5. 機能面や安全に対する配慮が適切である。
		☐	☐	2. 主設備、関連設備、操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が優れている。	☐	☐	6. 既存部分や関連設備との調整がなされ、全体に調和がよい仕上げである。(改修工事)
		☐	☐	3. 異常な振動、騒音がなく、動きもスムーズで総合的な機能、運転性能が優れている。	☐	☐	7. 運転及び保守点検に対する配慮が適切である。
		☐	☐	4. 機械設備として高い品質・性能が確保されている。			
受 変 電 設 備 工 事	受変電設備工事 通信設備工事 その他類似工事 (改修工事含む)	☐	☐	1. 主設備、関連設備等の仕上り状態が良く、にきめ細やかな施工がなされている。	☐	☐	4. 製作上の補修痕跡がなく、電気設備として高い品質・性能が確保されている。
		☐	☐	2. 構造物とのすりつけが良い。	☐	☐	5. 既存部分や関連設備との調整がなされ、全体に調和がよい仕上げである。(改修工事)
		☐	☐	3. 機能面や安全に対する配慮が適切である。	☐	☐	6. 運転及び保守点検に対する配慮が適切である。
管 工 事	ガス工事 下水道工事 (改修工事含む)	☐	☐	1. 仕上り状態が良く、きめ細やかな施工がなされている。	☐	☐	6. 給排水、衛生設備として高い品質、性能が確保されている。
		☐	☐	2. 関連工事との調整がなされ全体に調和が良くとれた仕上がりである。	☐	☐	7. 端部処理が良い。
		☐	☐	3. 鉄蓋等の高さが適切である。	☐	☐	8. 既存部分や関連設備との調整がなされ、全体に調和がよい仕上げである。(改修工事)
		☐	☐	4. 機能面や安全に対する配慮が適切である。	☐	☐	9. 既設構造物とのすりつけが良い。
		☐	☐	5. 接合部の施工方法が適切で処理が良い。			
消 防 施 設 工 事	消防施設工事 (改修工事含む)	☐	☐	1. 仕上り状態が良く、きめ細やかな施工がなされている。	☐	☐	4. 消火設備、火災警報設備として高い品質・性能が確保されている。
		☐	☐	2. 関連工事との調整がなされ全体に調和が良くとれた仕上りである。	☐	☐	5. 既存部分や関連設備との調整がなされ、全体に調和がよい仕上げである。(改修工事)
		☐	☐	3. 機能面や安全に対する配慮が適切である。	☐	☐	6. 運転及び保守点検に対する配慮が適切である。
冷 暖 房 設 備 工 事	冷暖房設備工事 (改修工事含む)	☐	☐	1. 仕上り状態が良く、きめ細やかな施工がなされている。	☐	☐	4. 冷暖房設備として高い品質・性能が確保されている。
		☐	☐	2. 関連工事との調整がなされ全体に調和が良くとれた仕上りである。	☐	☐	5. 既存部分や関連設備との調整がなされ、全体に調和がよい仕上げである。(改修工事)
		☐	☐	3. 機能面や安全に対する配慮が適切である。	☐	☐	6. 運転及び保守点検に対する配慮が適切である。
塗 装 工 事	塗装工事	☐	☐	1. 塗装の均一性が良い。	☐	☐	4. ケレンの施工状況が良好である。
		☐	☐	2. 細部まできめ細やかな施工がされている。	☐	☐	5. 全体的な美観が良い。
		☐	☐	3. 補修箇所がない。			
建 具 工 事	建具工事	☐	☐	1. 仕上り状態が良く、きめ細やかな施工がなされている。	☐	☐	4. 全体的な美観が良好である。
		☐	☐	2. 機能面や安全に対する配慮が適切である。			
		☐	☐	3. 仕上りの状態が良好である。			
取 壊 し 工 事	取壊し工事	☐	☐	1. 環境、安全への配慮が適切である。			
		☐	☐	2. 既存部分や関連設備との調整がなされている。			
		☐	☐	3. 整地の状態が良好である。			
防 護 柵 工 事	防護柵工事	☐	☐	1. 通りが良い。	☐	☐	4. 既設構造物等とのすりつけが良い。
		☐	☐	2. 端部処理が良い。	☐	☐	5. 全体的な美観が良好である。
		☐	☐	3. 部材表面に傷、錆がない。			
外 構 工 事	外構工事	☐	☐	1. 既存部分や関連設備との調整がなされ全体に調和がよい仕上げである。	☐	☐	5. 全体的な美観が良好である。
		☐	☐	2. 機能面や安全に対する配慮が適切である。	☐	☐	6. 通りが良い。
		☐	☐	3. 仕上がりの状態が良好である。	☐	☐	7. 端部処理が良い。
		☐	☐	4. きめ細やかな施工がなされている。	☐	☐	8. 部材表面に傷、錆がない。

細別	工 種	検査員		評 価 項 目
		該当	評定	
出 来 ば え (建 築 一 般)	コンクリート構造物工事	☐	☐	1. コンクリート構造物の肌が良い。 2. コンクリート構造物の通りが良い。 3. 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。
	舗装工事	☐	☐	1. 舗装の平坦性が良い 2. 構造物の通りが良い。 3. 端部処理が良い。
	基礎工工事(地盤改良等を含む)	☐	☐	1. 土工関係の仕上げが良い。 2. 通りが良い。 3. 端部、天端仕上げが良い。
	植栽工事	☐	☐	1. 樹木の活着状況が良い。 2. 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 3. 支柱の取付が堅固である。
そ の 他	上記以外の工事又は合併工事 この表にない場合、適切な評価項目を追加して評価することができる。	☐	☐	1. 理由 _____ 2. 理由 _____ 3. 理由 _____ 4. 理由 _____ 5. 理由 _____
指 示 事 項	指示事項 工種に関係なく指示事項があった場合はこの欄に記入すること。	☐	☐	1. 内容 _____ 2. 内容 _____ 3. 内容 _____ 4. 内容 _____ 5. 内容 _____
評定結果	検 査 員			

4 高度技術・5 創意工夫・6 社会性等

評価項目		細別	主監督 責任員	評 価 内 容
				内 容
高 度 技 術	4	施工規模	☐	
		構造物形状	☐	
			☐	
		技術特性	☐	
		自然・ 地盤条件	☐	
	☐			
	周辺環境等 社会条件	☐		
術	評 定 結 果	現場での対応	☐	
	主任監督員		☐	
		その他	☐	
5 創 意 工 夫	高度技術で評 価する程でない 軽微な工夫	施工関係	☐	
			☐	
			☐	
	評 定 結 果	安全衛生関係	☐	
	主任監督員		☐	
	その他	☐		
評価項目		細別	総括（主任） 監督員	評 価 内 容
				内 容
6 社 会 性 等	地域社会や住 民に対する貢 献及び環境に 配慮した工事 の推進等	地域への 貢献度等	☐	
			☐	
			☐	
	評 定 結 果	環境への対応等	☐	
	総括（主任） 監督員		☐	
	その他	☐		
所 見				

7 法令遵守等

評価項目	法令遵守等の該当項目一覧表	
法令遵守等	措置内容	点数
	☐ 1. 指名停止3か月以上	-20
	☐ 2. 指名停止2か月以上3か月未満	-15
	☐ 3. 指名停止1か月以上2か月未満	-13
	☐ 4. 指名停止2週間以上1か月未満	-10
	☐ 5. 文書注意	-8
	☐ 6. 口頭注意	-5
☐ 7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微なため、口頭注意以上の処分がなかった場合（不問で処分した案件。もらい事故や交通事故は含まない。）	-3	

項目該当なし

本評価項目（7.法令遵守等）で評価する事項は、「工事の施工にあたり、工事関係者に措置があった場合に適用する。

「工事の施工にあたり」とは、請負契約書の記載内容（工事名、工期、施工場所等）を履行することに限定する。

「工事関係者」とは、を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、請負会社の現場従事職員及びを履行するために下請契約し、その履行するために従事する者に限定する。

文書注意及び口頭注意の事例

- 1) 施工体制台帳、施工体系図が不備で、監督職員から文書等による改善指示を行ったが、これに従わなかった。